

千貫岩駐車場～ラクダ山登山口～光水鍾乳洞～ラクダ山～塔ヶ峰～

七つ森～ラクダ山～ラクダ山登山口～千貫岩～千貫岩駐車場

# ラクダ山・七つ森・塔ヶ峰

2021年3月27日

今回挑戦したのは、平尾台の南側に位置するラクダ山。家内とハイキング気分でサクッと登る予定だったが、その先にある山が気になりつい足を延ばした。通常、ラクダ山までが平尾台の範囲内とされているが、調子に乗って行橋市に、はみ出し登山となった。結果、峰続きとなる「七つ森」と「塔ヶ峰」の山頂に苦勞しつつも無事登頂。苦勞した分、達成感はひとしおだった。



ラクダ山の山頂に座り、ついさっき登頂した七つ森と塔ヶ峰を眺めて達成感に浸る。

## <コース概要>

1、千貫岩駐車場 11時22分 ～ 2、ラクダ山登山口 ～ 3、光水洞分かれ ～  
4、光水鍾乳洞 ～ 5、光水洞分かれ ～ 6、ラクダ山 ～ 7、分岐道標 ～ 8、塔ヶ峰 ～  
9、分岐道標 ～ 10、七つ森 ～ 11、分岐道標 ～ 12、ラクダ山 ～ 13、光水洞分かれ～  
14、ラクダ山登山口 ～ 15、千貫岩 ～ 16、千貫岩駐車場 17時28分



千貫岩駐車場 11時10分 到着

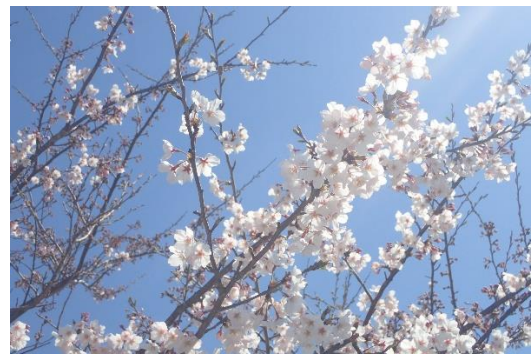
今日はお天気最高！春爛漫！ここに来る途中、吹上峠や自然観察センターの駐車場は満車。しかし、何故かここは貸し切り状態。



ガラガラでのんびり



陽射しをたっぷり浴びるオオイヌノフグリ



駐車場の桜は満開を過ぎていた



1、千貫岩駐車場 11時22分 スタート

まずは駐車場内のお花を觀賞して出発！  
前の畑では、菜の花満開の中を作業中。



のどかな風景

目指すは平尾台の南端に位置するラクダ山。駐車場から県道28号に出て左へ進む！



登山口まで車道を歩く 11時24分

正面に本日目標のラクダ山が見えている。  
バイクや車に気を付けて歩こう！



キャベツ畑



登山口までは約400m

ひらおだい2号橋を渡り一路ラクダ山へ。  
この県道28号線建設の際は、多くの石灰岩  
を取り除いて整地したのでは？と想像。



行橋と小倉南を繋ぐ



右に平尾台自然の郷に続く道 11時26分

ここから右に進むと、キャンプ場や子供が喜  
ぶ「平尾台自然の郷」に続き、その先は吹上  
峠駐車場に通じている。



県道28号を直進

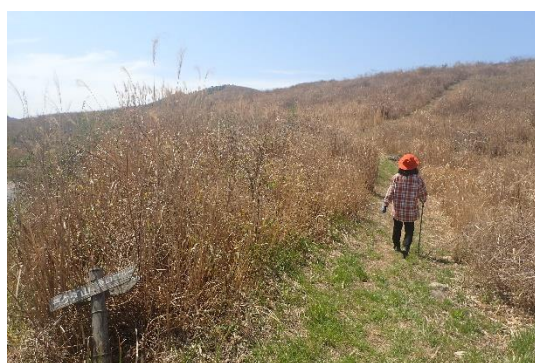


2、ラクダ山登山口 11時28分

千貫岩駐車場から6分で到着。ここから光水  
鍾乳洞に寄ってラクダ山を目指す！



朽ちて倒れていた

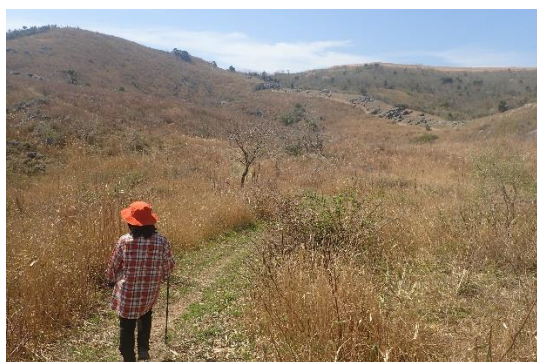


ラクダ山まで1km さあ行くぞ！

さっそく足下に紫色の小さな花がたくさん。  
出来るだけ踏まないように足を運ぶ。



スミレ



なだらかなアップダウン 11時36分

ここは野焼きの範囲外のように、枯れたススキや笹がたくさん風に揺れている。



ウマノアシガタ



3、光水洞分かれ 11時37分 右へ

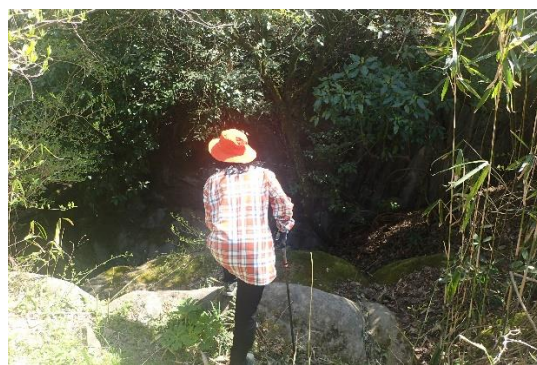
ラクダ山に向かう前に、ちょっと光水鍾乳洞に寄り道。緩やかに下って行く。



観光洞ではない



ジメツとした藪に入っていく



4、光水鍾乳洞 11時42分 恐々覗く



パツクリ口を開けている。約5mの垂直穴。



鍾乳洞周辺にスズシロソウが咲いていた

ここは危険！小さな子供は連れてこない方がいいだろう。

光水鍾乳洞の見学も終えてラクダ山への分岐に戻ることにした。



途中でカマキリのタマゴを発見！



約3分で光水洞分かれに戻ってきた



### 5、光水洞分かれ 11時53分

この分岐で、ちょうど上ってきたベテラン風のご夫婦が先を歩くことに。



さあ行こう！



石灰岩の中を通り抜ける 11時55分



左を見ると塔ヶ峰 11時55分



枯草で滑る急登を上り詰めると 11時58分



右手前方に竜ヶ鼻 12時05分



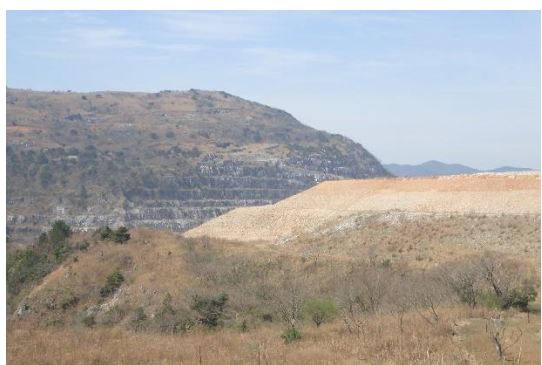
草原の道を羊と戯れ上って行く 12時07分 この辺りで羊たちともお別れになる  
見渡す景色は薄茶色だが、足下を見ると 小さな花々が春の訪れを教えてくれる



足下にはタンポポが一輪、黄色が光る



ノイチゴの白い花も可愛い



山を削る採掘場。現実を見ると悲しくなる



大きな重機で作業中 12時09分



ラクダ山へ続く長い一本道 12時10分 アップダウンが見て取れる



気分よく稜線歩きをしていると・・・



急登の洗礼を受ける 12時14分

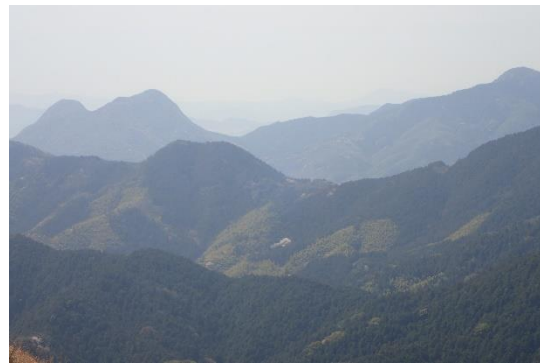


急登の途中でセンボンヤリが元気をくれる  
このセンボンヤリは春にも秋にも咲く花である。春は写真のように花弁を広く開いた白い花。しかし、秋になるとこの花弁が閉じた状態の花になり、その姿が槍状になるのが、名前の由来の様だ。(諸説あり)  
丘陵地帯に咲く花で、見つけると嬉しくなる。復路の際にも見てみよう！

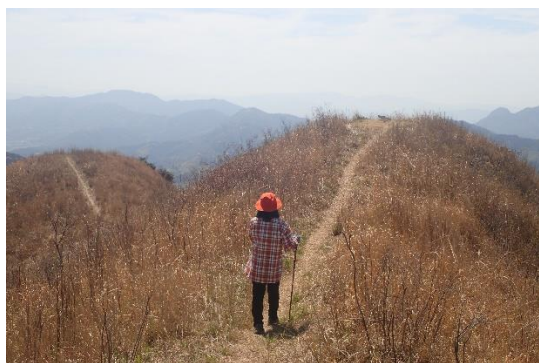
そう言えば、光水洞分かれで出会い、先行していたベテラン風のご夫婦を、その後追い抜き、振り返っても見えなくなった。きっとゆっくり歩いて平尾台を楽しんでいるのだろう。



ここからが最後の急登 12時16分



右手遠くに香春岳と牛斬山



確かこの先が山頂だが・・・山頂碑がないぞ



6、ラクダ山 12時20分 485m



山頂碑は無残にもプレートだけが転がっていた。登山口の道標も朽ちて倒れていたが、長年の風雪に耐えきれず、そろそろ寿命かもしれない。今度台風でも来れば、どこかに飛んで行ってしまいそうだ。これまでの経験として、山頂にやっと辿り着いた時に、山頂碑がないのは非常に悲しい。是非、新しい道標や山頂碑をお願いしたいものである。

ラクダ山の山頂碑を拾い上げて記念撮影



翌日は春の嵐との予報だが・・・お天気最高



ふたコブ目に行ってみよう！ 12時22分



遠くでウグイスが鳴いている 12時24分 下り坂も枯草で滑って歩き難い



ふたコブ目に到着！ 12時26分

ここでラクダ山終了！平尾台でラクダ山に上る人も少ないが、ラクダ山に登ってもほとんどの人がここで引き返す。この先に見える山は七つ森と塔ヶ峰。ラクダ山から伸びる道はその森の中へと続いている。

とにかくお腹も減ったし、ここで🍱おにぎりタイムにしよう。

後続のご夫婦もやがてやって来るかも知れないので、少し下ったルート外れの岩の上で休憩。  
🍱おにぎりを頬張りながら、「まだ1時間ちょっとしか歩いてないし・・・」、少々物足りなさも感じて、「この先行けるところまで行ってみようか？」と先へ進むことに・・・。しかし、この安易な決断の結果、2時間で終わるはずの行程が、なんと6時間にも及んでしまった(笑)



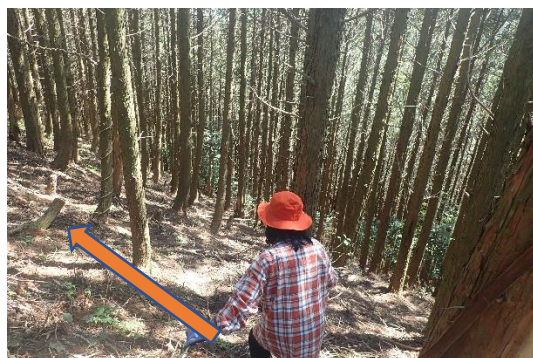
森が近づいてきた 12時42分

休憩後、先へと進み未知の世界へ突入！植林帯に入り、薄い踏み跡を左へトラバース。



静かな森

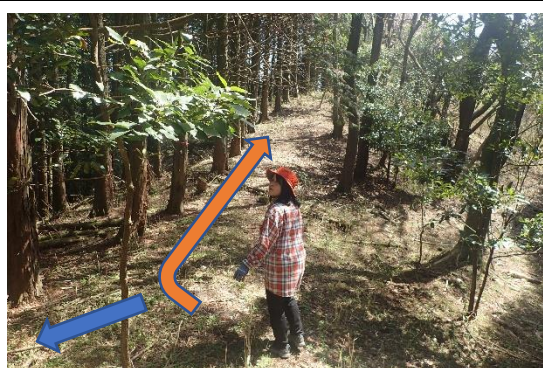
帰路で歩いて判明したのだが、森に突入する前に、このカヤトの中を、左に入る踏み分け道があった。しかし、この時は全く気が付かず森へと直進してしまった。



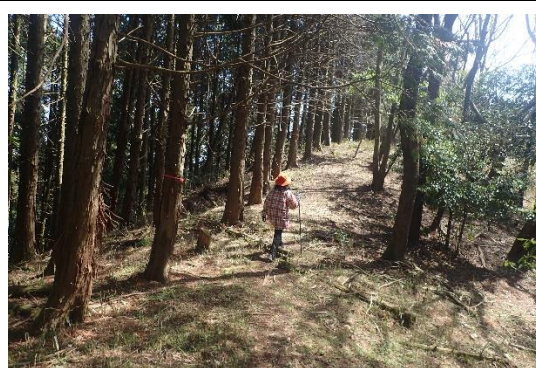
森の中は意外と明るい 12時43分



左斜めに下ると尾根に乗る 12時50分



尾根は整備されている。左側、上りの尾根にも赤テープがある。帰路に歩いてみよう！



赤テープに沿って尾根を歩く 12時51分  
快適な尾根歩きに気分上々。



尾根の肩に辿り着く 13時01分  
多少のアップダウンはあるが、10分ほどまっすぐ快適な尾根歩き。すると、ここから尾根は左に折れている。



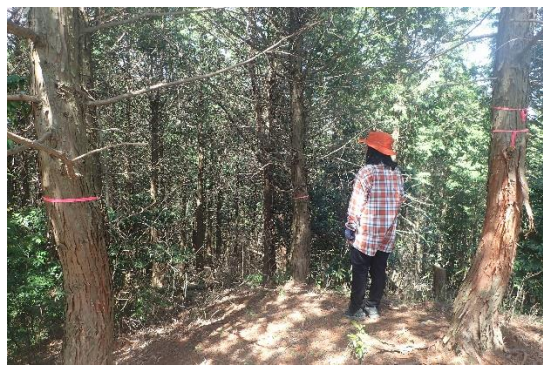
尾根の肩に打設の杭



肩から左に折れて下る 13時01分  
赤テープ(赤テープと言っても林業の方が木に巻いている誘導テープ)に沿って歩く。



下りが続く

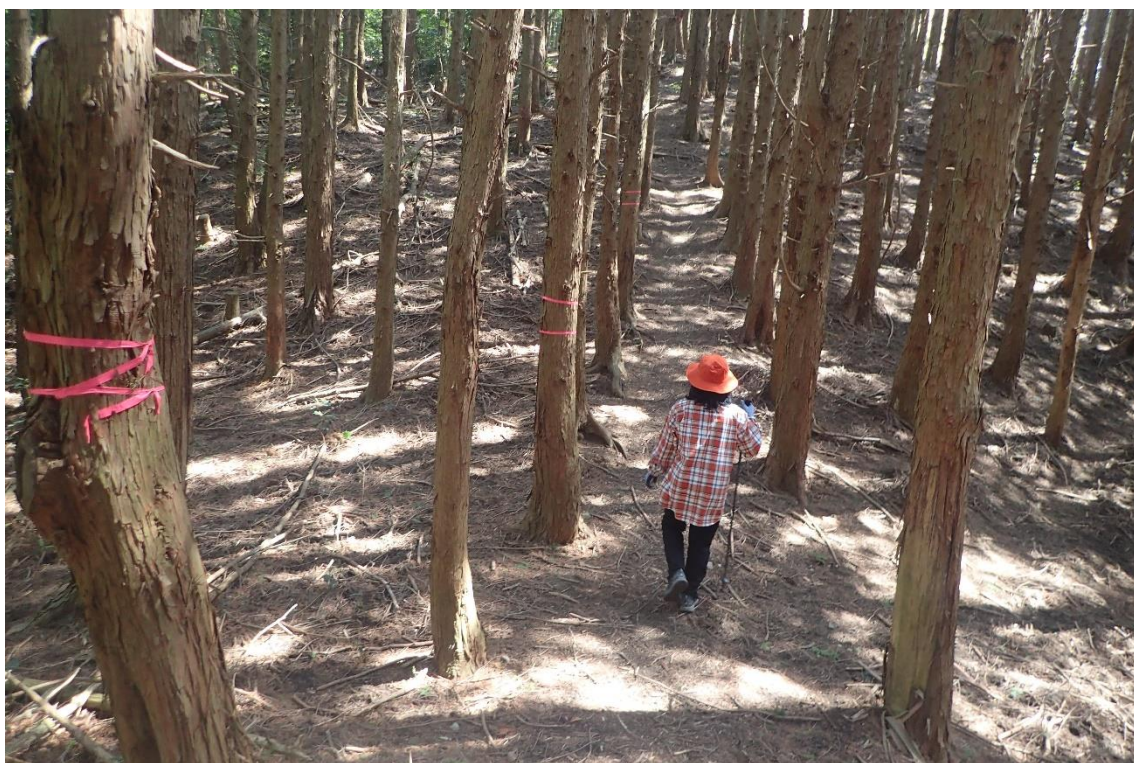


立ち止まって慎重に 13時03分

ここまで道は明瞭だったが、赤テープがたくさんついた地点で小休憩。慎重に道を見極めて再スタート。道標が無いので不安。



まだかな～



なだらかな上りの植林帯を快適に進む 13時19分 吹き渡る風が心地いい



7、分岐道標(ルート談義) 13時23分

登り切った所でこのルートで初めて道標に出会った。しかし、この道標がピンとこない。この道標が設置されている場所は三叉路ではない。この道標をどう読み取るのか？思案のしどころ。実はこの道標のすぐ手前に右に下る分岐があったのだが、七つ森に通じるルートはその分岐からなのか？悩む。



### 設置場所がおかしいと思った分岐道標

通常なら目的地への分岐を過ぎて、道標をつけることはない。

「きっとこの先に七つ森への分岐があるはずだ！」と、ルート談義の結果、我々はこの先に七つ森への分岐があるものと判断して塔ヶ峰の方へ進んだ。当然右側にあるはずの分岐を探しながら歩いて行った。



### 分岐道標から再スタート 13時29分

道標からは下り勾配。淡々と歩いて行くと七つ森への分岐は見当たらない。



13時31分



倒木を跨いだり潜ったり 13時38分



塔ヶ峰への道標が現れた 13時38分



### 立派な塔ヶ峰への道標 13時38分

この道標を見た瞬間、七つ森への分岐を見過ごしたことを確信した。

気を付けていたはずなのに残念ながら見つけることが出来なかった。

とにかくこうなったら塔ヶ峰の山頂を踏んで、復路で七つ森への分岐を探そう！

気を取り直して塔ヶ峰へ！



大きな倒木が道を塞ぐ 13時41分



尾根は続く 13時50分 もう疲れたぞ～！



キノコが顔を出す



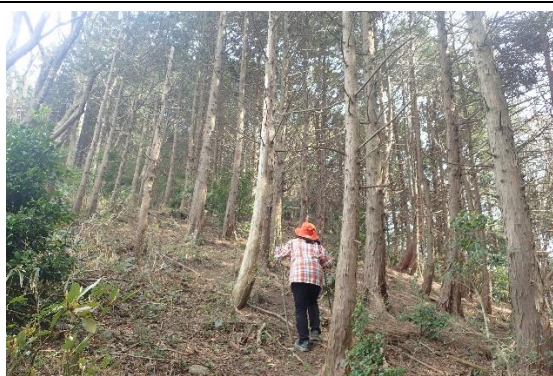
森が開けて明るくなっている 13時55分



桶ヶ辻～周防台の稜線を望む 13時56分  
森に入り、初めて視界が広がった。深呼吸してここから塔ヶ峰への最後の急登だ！



環境の森林



急登にスマレ 14時01分

この急登は日当たりもいいのだろう、小さなスマレがポツポツと咲いていた。



可憐な花びら



急登を黙々と上り・・・ 14時04分



山頂と思ったら先があり・・・ 14時07分



今度こそはと思ったら・・・ 14時08分



また裏切られ・・・ 14時09分



8、塔ヶ峰 14時10分 396m

そして、三度目の急登でようやく山頂に辿り着いた。山頂からの展望は全くない。



達成感MAX



本日2座目の証拠写真





山頂で本日2度目の📍おにぎりタイム  
ラクダ山のふたコブ目を出発して塔ヶ峰まで  
約1時間30分が経過していた。



三角点



塔ヶ峰を下山開始 14時21分  
山頂奥の岩に座って休憩した後、下山に取り  
掛かる。ここまで来たら復路では必ず七つ森  
の山頂を踏みたいが、果たして分岐が見つ  
かるだろうか？このまま順調に下っても千  
貫岩駐車場までは2時間はかかりそうなの  
で、七つ森であまり時間を費やすことは出来  
ない。少々焦って下ることになった。



今度は急登を下る 14時29分



急登の途中にノイバラが咲いていた



青年とすれ違う(1回目) 14時30分  
焦って下山している割には、ノイバラやスミ  
レに出会うと写真を撮ってしまう。  
これがMy登山の楽しみなので仕方ない。  
急登を下る途中で前から単独行の青年が上  
ってきた。息せき切ってハイペース。すれ違  
う際に挨拶を交わし、彼はグングン急登を上  
って行った。



大きな倒木を潜る 14時48分

往路を必死に下る。必死だが、ペースは遅い。と、その時、背後から先程すれ違った青年が塔ヶ峰の山頂から引き返してきた。もう追いつかれたのか～さすがに早い。2度目の挨拶を交わすと、青年が立ち止まり「グランドラインを回っているのですか？」と尋ねられた。グランドライン???

### 「グランドライン」って何？

「グランドラインを回っているのですか？」の問いに、「私達は千貫岩駐車場からスタートして、ラクダ山から塔ヶ峰とこれから七つ森に行って帰る予定です。」と答えた。青年は当てが外れたような感じで、「私もこれから七つ森です。」と言いきり、我々を追い抜いて行ってしまった。

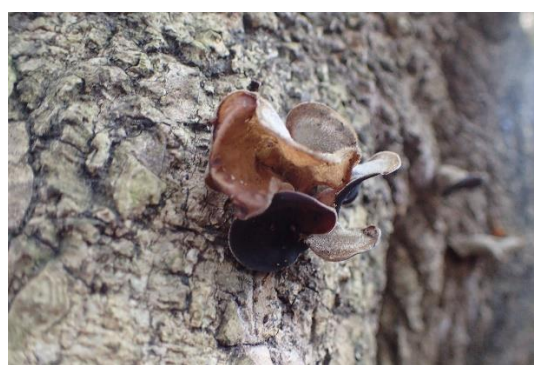
グランドラインと言う言葉は初耳だった。一体何の事だろう？帰って調べると、平尾台地域にある山々、23座(約30km)を一日で制覇するチャレンジ登山のようなものだった。

平尾台一周(19座)を自分も考えたことはあるが、それ以上のハードなチャレンジ登山である。

1day くじゅう17サミツツの平尾台版とも言えるだろう。いつから流行っているだろう？



キノコの類は名前がわからない



これは木耳(キクラゲ)？



塔ヶ峰への道標まで戻ってきた 14時55分

ここまで順調。キノコの撮影でもしながら相変わらずマイ(家内)ペースで歩く。



見ると安心



### 9、分岐道標 15時05分

ここに至る途中、残念ながら七つ森への分岐を見つけることは出来なかった。悔しい。



見て考え込む

きっとこの近くに七つ森への分岐があるはずだ！ 探そう！とウロウロすることに・・・。



違うと思う分岐の前に立ち地形などを読む

### 青年との3度目の出会い 15時08分

分岐道標からラクダ山方面へ10m程通り過ぎると、そこには木に赤テープのつけてある分岐がある。「この分岐は下っているし違うと思うんだけど・・・」と、二人で悩んでいると、背後に人の気配・・・、振り向くと先程の青年の姿が・・・。我々は当然ながら驚きを隠せない！「どうしてここに？」と聞くと、「たった今、七つ森に行ってきました」と言う。

青年も最初は分岐を探したが見つからず、あの分岐道標を見て分岐の位置を予想して探すと、分岐が見つかったと言う。「分岐道標から少し下ったところに七つ森に行く分岐がありますよ。尾根には赤テープもしっかりあるので大丈夫ですよ！」と教えてくれた。

なんと運のいいことか？青年に会わなければ分岐の入口が判らなかつたかも知れない。感謝、感謝！と同時に自分のスキルの低さを痛感させられ落ち込んだ。その後、彼はまたハイペースで行ってしまった。挑戦中のグランドラインはその後、無事に完結出来たのだろうか？



七つ森への分岐は分岐道標のある木から塔ヶ峰方面に20m程下って右の藪に入る。目印は藪に入る前に木の枝にチョココンと赤テープ(赤矢印)が巻いてあるのみ。非常に分りづらい。



七つ森への分岐 15時11分

一見普通の藪。分岐の入口があるとは思えない！青年はよく見付けたものだと感心。



赤テープ(赤矢印)

分岐の入口にある目印は枝の先に赤テープが少し巻いてあるだけで、右に分ける尾根はあるものの、尾根へのアプローチは茂みが覆い、目を凝らすとなんとなく道が見える程度だった。

あの分岐道標はこの場所に設けるのが正しいと思うが・・・誰かが移動したのだろうか？



茂みを潜り抜けて進む 15時11分

さあ七つ森へ向かってGO！青年が教えてくれた通り、赤テープが続いている。

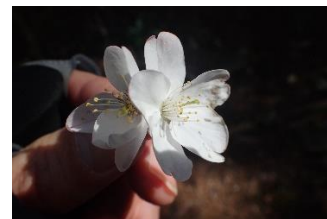


少し早歩き



山桜の落花 15時21分

どこから落ちてきたのか？嬉しくなって上を見上げるが分からない。



綺麗な花びら



大きな岩を通過すると山頂はすぐだった



10、七つ森 15時23分 442m



七つ森山頂でも証拠写真

分岐の場所がわかれば、なんなく登頂！分岐から12分であつという間だった。  
山頂は塔ヶ峰と同じで、全く展望はない。山頂とは思えない森の中だった。5分休憩。



七つ森を下山。まずは分岐まで 15時28分



大きな二つの岩を通過 15時29分



森は少し荒れている 15時32分



茂みもあるので慎重に 15時37分



赤テープを辿りながら 15時38分



七つ森への分岐に戻ってきた 15時40分



11、分岐道標 15時43分 小休憩  
後は往路を帰るだけだ！ラクダ山が待っている。時間も4時に近いし頑張って歩こう！



15時44分

★ここからデジカメの撮影モードを変更しています！★



アップ アップ 16時00分



ダウンを繰り返し 16時07分



時には快適な尾根道で足休め 16時10分 こんなパターンを繰り返す

そして、森を抜ける最後の急登だ！



往路は左の植林帯の中をトラバースして下ってきたが、復路では尾根を直進！ 16時21分



広い尾根を上って行く 16時21分



少々ヤブ漕ぎ 16時23分



ラクダ山からの一本道に出会う 16時25分



こんな脇道、気がつかなかった！

今登ってきた七つ森を振り返る



七つ森(442m) どこをどう歩いたのだろう？ま、いいか。



ラクダの背を歩く 16時31分



12、ラクダ山 山頂でバンザイ！ 16時33分



ラクダ山山頂より、天狗岩～周防台の稜線(左)と塔ヶ峰(右)を眺める 16時34分



稜線上の花たちに別れを告げながら下って行く



雄大な景色を楽しみながら、一本道をゆっくり下る 16時44分



13、光水洞分かれ 17時06分



道の両サイドにはサルトリイバラがビッシリ



サルトリイバラの赤い実が残っていた



14、ラクダ山登山口 17時13分



ゴールする前に千貫岩を見にいこう！



駐車場を横目に車道を歩く 17時21分



15、千貫岩 17時22分 千貫岩は平尾台で一番大きな石灰岩と言われている



16、千貫岩駐車場 17時28分 ゴール

千貫岩も見学して無事に下山完了！  
今日は2時間のつもりが6時間超の山歩きとなった。しかしながら、ニューピーク2座を踏むことが出来て、充実した登山だった。  
ラクダ山の先にある、七つ森や塔ヶ峰にお出かけの方は、ルート表示に十分気を付けよう。尾根歩きは快適でした！

本日の所要時間は6時間06分。スマホの歩数計は16519歩だった。お疲れ様でした！